



2024年 6月28日

各 位

会 社 名 株式会社イー・ロジット  
代表者名 代表取締役社長CEO 谷辻 昌也  
(コード番号：9327 東証スタンダード市場)  
問合せ先 取締役CFO兼経営管理部長 堀池 康夫  
(TEL. 03-3518-5460)

(訂正)「特別損失の計上、通期連結業績予想及び通期個別業績予想と実績値との差異並びに剰余金の配当（無配）に関するお知らせ」の一部訂正について

2024年5月15日に公表いたしました「特別損失の計上、通期連結業績予想及び通期個別業績予想と実績値との差異並びに剰余金の配当（無配）に関するお知らせ」について、修正後発事象に伴い一部訂正すべき事項がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 訂正の理由

「特別損失の計上、通期連結業績予想及び通期個別業績予想と実績値との差異並びに剰余金の配当（無配）に関するお知らせ」の公表後、閉鎖するフルフィルメントセンターに係る事業所閉鎖損失引当金及び資産除去債務において、見積もりの前提に変更が生じたこと等により、事業所閉鎖損失引当金及び減損損失の計上額について訂正いたしました。また、その他の箇所においても一部修正すべき事項がありましたので、訂正を行うものです。

2. 訂正の内容

訂正箇所は下線を付して表示しております。

1. 特別損失の計上について

【訂正前】

(1) 減損損失

(連結)

当社が保有する一部のフルフィルメントセンター（以下、FCといいます。）を閉鎖する経営判断等に伴い、回収可能性について検討した結果、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき一部の固定資産の減損処理の実施及び、第3四半期連結会計期間より連結の範囲に含めた連結子会社において、暫定的な処理をしていた期首残高に重要な会計上の修正すべき事項があることが判明し、将来の超過収益力が期待できなくなったことによるのれんの減損処理の実施等により、連結決算において減損損失972百万円を計上いたしました。

(個別)

当社が保有する一部のFCを閉鎖する経営判断に伴い、回収可能性について検討した結果、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき一部の固定資産の減損処理を行い、個別決算において減損損失307百万円を計上いたしました。

(2) 事業所閉鎖損失引当金繰入額

当社が保有する一部のFCの閉鎖に伴い生じる損失に備えて、連結決算及び個別決算において事業

所閉鎖損失引当金繰入額405百万円を計上いたしました。

【訂正後】

(1) 減損損失

(連結)

当社が保有する一部のフルフィルメントセンター（以下、FCといいます。）を閉鎖する経営判断等に伴い、回収可能性について検討した結果、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき一部の固定資産の減損処理の実施及び、第3四半期連結会計期間より連結の範囲に含めた連結子会社において、暫定的な処理をしていた期首残高に重要な会計上の修正すべき事項があることが判明し、将来の超過収益力が期待できなくなったことによるのれんの減損処理の実施等により、連結決算において減損損失960百万円を計上いたしました。

(個別)

当社が保有する一部のFCを閉鎖する経営判断に伴い、回収可能性について検討した結果、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき一部の固定資産の減損処理を行い、個別決算において減損損失295百万円を計上いたしました。

(2) 事業所閉鎖損失引当金繰入額

当社が保有する一部のFCの閉鎖に伴い生じる損失に備えて、連結決算及び個別決算において事業所閉鎖損失引当金繰入額362百万円を計上いたしました。

2. 通期業績予想数値と実績値との差異

(1) 2024年3月期通期連結業績予想と実績の差異（2023年4月1日～2024年3月31日）

【訂正前】

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A) (2023年11月14日発表)	13,500	△250	△260	△380	△108.36
実績値 (B)	13,121	△1,193	△1,179	<u>△2,485</u>	<u>△692.59</u>
増減額 (B-A)	△378	△943	△919	<u>△2,105</u>	
増減率 (%)	△2.8	—	—	—	

※2023年3月期は連結決算を行っていないため、前期実績は記載しておりません。

## 【訂正後】

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A) (2023年11月14日発表)	13,500	△250	△260	△380	△108.36
実績値 (B)	13,121	△1,193	△1,179	<u>△2,466</u>	<u>△687.33</u>
増減額 (B-A)	△378	△943	△919	<u>△2,086</u>	
増減率 (%)	△2.8	—	—	—	

※2023年3月期は連結決算を行っていないため、前期実績は記載していません。

(2) 2024年3月期通期個別業績予想と実績の差異 (2023年4月1日～2024年3月31日)

## 【訂正前】

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A) (2023年5月15日発表)	12,200	△500	△510	△550	△157.26
実績値 (B)	12,869	△694	△674	<u>△1,697</u>	<u>△473.09</u>
増減額 (B-A)	669	△194	△164	<u>△1,147</u>	
増減率 (%)	5.5	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2023年3月期)	12,825	△288	△281	△565	△161.81

## 【訂正後】

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A) (2023年5月15日発表)	12,200	△500	△510	△550	△157.26
実績値 (B)	12,869	△694	△674	<u>△1,678</u>	<u>△467.84</u>
増減額 (B-A)	669	△194	△164	<u>△1,128</u>	
増減率 (%)	5.5	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2023年3月期)	12,825	△288	△281	△565	△161.81

修正の理由

(連結)

【訂正前】

(省略)

また、特別損失として、上記のとおり閉鎖の経営判断を行ったFC等に係る固定資産の減損処理及び、第3四半期連結会計期間より連結の範囲に含めた連結子会社において、暫定的な処理をしていた期首残高に重要な会計上の修正すべき事項があることが判明し、将来の超過収益力が期待できなくなったことによるのれんの減損処理の実施に伴い、減損損失972百万円を計上し、さらにFCの閉鎖に伴い生じる損失に備えて事業所閉鎖損失引当金繰入額405百万円を計上したことなどにより、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は、前回発表予想を下回りました。

【訂正後】

(省略)

また、特別損失として、上記のとおり閉鎖の経営判断を行ったFC等に係る固定資産の減損処理及び、第3四半期連結会計期間より連結の範囲に含めた連結子会社において、暫定的な処理をしていた期首残高に重要な会計上の修正すべき事項があることが判明し、将来の超過収益力が期待できなくなったことによるのれんの減損処理の実施に伴い、減損損失960百万円を計上し、さらにFCの閉鎖に伴い生じる損失に備えて事業所閉鎖損失引当金繰入額362百万円を計上したことなどにより、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は、前回発表予想を下回りました。

(個別)

【訂正前】

(省略)

また、特別損失として、上記のとおり閉鎖の経営判断を行ったFCに係る固定資産の減損処理に伴う減損損失307百万円、FCの閉鎖に伴い生じる損失に備えて事業所閉鎖損失引当金繰入額405百万円、連結子会社の経営成績及び財政状態等を勘案した結果、貸倒引当金繰入額381百万円を計上したことなどにより、営業利益、経常利益及び当期純利益は、前回発表予想を下回りました。

【訂正後】

(省略)

また、特別損失として、上記のとおり閉鎖の経営判断を行ったFCに係る固定資産の減損処理に伴う減損損失295百万円、FCの閉鎖に伴い生じる損失に備えて事業所閉鎖損失引当金繰入額362百万円、連結子会社の経営成績及び財政状態等を勘案した結果、貸倒引当金繰入額381百万円を計上したことなどにより、営業利益、経常利益及び当期純利益は、前回発表予想を下回りました。

以 上